



みちしるべ

令和5年5月11日

第1回進路希望調査を終えて

4月下旬に進路希望調査（事前調査）を取りました。保護者と進路の話をする事ができたでしょうか。今回の進路希望調査は、自分の目指す方向性を考えることと、保護者と進路について考えるきっかけを作る目的で行いました。アンケートを行う中で、質問事項などがありましたので、出来る限りお答えしたいと思います。希望は、90%以上が高等学校進学でした。

（1）どのように学校選択をすればいいですか？受験校をどのようにして決めるのか？

高校進学を希望している人が現段階で90%以上いる中で、この質問が一番多かったです。皆さんはどのような理由で受験校を選びますか？

- ・勉強したいから ・大学に行きたいから ・将来の夢に向けて勉強したい
- ・楽しみたい ・部活がしたい ・留学のプログラムがあるから
- ・先輩が行っているから ・なんとなく ・距離が近い などなど

3% これはどんな数字でしょう？実は、高校を中退する率です。皆さんの学年は100人くらいですから、約3人は途中でやめてしまうということです。それはなぜか？

- ・雰囲気合わない ・勉強がついていけない ・やりたいことが見つかった
- ・家庭の都合

など、理由は様々ですが、選択の時点で、しっかり考えていないことが中退につながっています。ぜひ皆さんにはそういったミスマッチを減らしてほしいと思います。

～考えてほしいこと～

①将来やりたいこと、高校でやりたいことを考える。

→目標を持つということです。その学校を見たり、聞いたり、調べたりしましょう。

「学力」以外の動機を持つことは、とても大切です。

②自分の意志でしっかり決める。

→親が言ったから、友達が行くからなどの動機はやはり、自分の将来につながりません。

自分の人生を開拓するのは自分です。しっかり相談して決めよう。

③沢山の学校を見る。

→比較する対象を作りましょう。いくら第2・第3希望でも、その学校になることがあります。有意義な生活を送るには、常に受験する学校はその学校に進学するつもりで考えましょう。動機づけにもなります。

④実力テストなどで、自分の力を見据えて受験しよう。

→入ってから勉強についていけない、では苦しくなります。背伸びしすぎても自分にプラスにはなりません。けれど、現状に甘んじるのもダメですね。

(2) 高校の情報が知りたいです。高校見学でどこの学校にいけばいいかわかりません。

学校の情報を取り入れたい場合は、各学校のHPを見るのが一番です。中学校の方にも、いろいろな学校から学校見学の案内や学校案内のポスターが来ています。3年活動室の前に掲示してあるので、興味のある学校があれば見てみてください。

学校見学は、8月～10月が見学会のピークになります。この時期は毎週土日に説明会が開かれています。また見学会だけではなく、8月には授業体験や部活動体験もあります。学校によっては、この授業体験や部活動体験に来た生徒を記録しておいたりもしていますので、興味のある学校には説明会や授業体験に参加していきましょう。

ある都立の人気校の校長先生がこんなことをおっしゃっていました。

「下駄箱の上、生徒用トイレ、生徒・先生の挨拶の様子、この3つを見れば、その学校の善し悪しがわかる」と。その心は次のようなものでした。

○下駄箱の上は、放っておくとほこりもたまり、生徒が私物を重ね置きしがち。整理整頓や清掃がきちんとできているかどうか分かる。

○生徒用トイレが清潔に使われているかどうかを見ることで、その学校の生徒の「人としてのレベルの高さ」がわかる。

○生徒・先生同士の挨拶はもちろん、来校者（見学に来た外部の人）に対して生徒・先生がしっかりと挨拶できている学校は、コミュニケーションがきちんと取れていて指導がいきわたっている。

もし校内の様子を見ることができれば、以上も見ておきたいポイントです。

(3) 受験システムについて

①公立高校（千葉県）令和6年2月6日(火)～2月8日(木)出願

令和6年2月20日(火)・21日(水)試験 3月4日(月)発表

5教科テストの点数＋調査書（成績・検定や部活動成績、学校のリーダーなどを各学校の基準で加点）＋学校設定調査（各校毎に異なります。多くは面接や小論文など、スポーツ科や部活動を高校でも続けたい場合は、実技試験）があります。

②公立高校（茨城県）令和6年2月7日(水)～2月9日(金)出願

令和6年2月28日(水)・2月29日(木)試験 3月12日(火)発表

5教科テストの点数＋調査書（成績・検定や部活動成績、学校のリーダーなどを各学校の基準で加点）＋高校設定検査（学校設定調査（各校毎に異なります。多くは面接や小論文など、スポーツ科や部活動を高校でも続けたい場合は、実技試験）があります。一部の学校で、特色化選抜（文化・芸術・体育、奉仕活動および生徒会活動などの分野で優れた資質・実績がある人）があります。特色化が不合格の場合は、共通選抜の選考に掛けられ、最終的な合否判定となります。千葉より発表が遅いため、友達の進学先が決まった雰囲気の中、不安を感じるもあるので、気持ちの部分も考えて選択しましょう。また、千葉県の受検者は、定員の3割までしか合格できません。28日：一般学力検査、29日特色選抜（茨城は1日で5教科のテストがある。）

③私立高校 (1月位から各都道府県である程度日程は固まっています。入試日の重なりに注意)

多くは、高校の基準クリア(成績)＋学校長の推薦決定後、各高校に相談の上(千葉・東京は先生方でいきます。)推薦入試の受験の可否が決まります。不可の場合は、一般入試(後期入試と呼ぶ学校もあります。)で受験します。推薦受験の可否は、あくまで、高校の入試担当の判断になります。推薦制度がない学校(例:専修大学松戸高等学校など)もあります。成績の基準は各学校のHPや書店にある高校受験案内(学校にも用意してあります)にも載っていることがありますので確認してください。

他は面談でお話しします。また、クラブチーム所属で、高校側とチームの監督が話をしている場合があります。監督から直接中学校に受験に関する連絡があることはほぼありませんので、学校側がその情報を知らないことがあります。また、監督と高校側の認識の相違などで受験できないなどのトラブルがある場合があります。クラブの監督・高校側と保護者で必ず確認をしてください。また、受験方法や受験日なども確認の上、随時担任の先生と話をし、連絡を密にしておいてください。

(4) 推薦の条件、高校側の基準

私立高校で使う制度になります。千葉県及び隣接県公立高校に推薦制度はありません。

本人の推薦受験申し出→①学校からの推薦 ②高校側の基準→入試相談→推薦受験の可否

学校での活動(生徒会・部活動・リーダーなど全て)をもとに先生方と校長先生で話し合い、決定されるものです。校長推薦・学校推薦と言ったりします。人物評価としての側面が多いので、犯罪行為や学校生活に支障をきたす行為、授業の妨害など、学校として評価できなければ推薦はできません。高校側の基準は、公開している学校と非公開の学校があります。大きな内容(5教科の成績数値基準)などは公開されていることが多いので、HP、入試要項の取り寄せなどで確認してください。高校側の基準としては、5教科、9教科の成績が基準となります。数値が足りない場合に2点程度は後述の内容でプラスになることもあります。欠席(皆勤は+1になることも。逆に3年間の欠席が多いと、推薦不可のこともあります。)、検定(基本的に英検・漢検・数検3級以上)、部活動の成績(県大会や入賞など)、生徒会やリーダー、資格やボランティア活動などです。私立の場合は、3年生の1学期又は2学期の成績基準で出願することが多いです。詳しくは8月、11月の三者面談でお話しします。

(5) 受験校パターン

- ①第1 希望公立高校＋第2 希望私立高校 ※最も多い
- ②第1 希望私立高校(単願) ※次に多い
- ③第1 希望公立高校のみ ※失敗した場合、進学先が決まらない可能性が・・・

注)・私立はどこの県でも受験可能です。

- ・公立高校は、千葉か茨城、埼玉のいずれかしか受検できません。
- ・千葉公立は学区制ですので、全日制普通科の場合、我孫子市は第3学区なので、2、3、4学区のみ受検可能です。専門学科(機械科、建築科など)に制限はありません。
- ・茨城県は、隣接学区協定により、茨城県南地域の受検が可能です。例年、取手・龍ヶ崎・土浦地域の高校を受検する生徒がいます。

(6) 今後の流れ

☆受験勉強で成績をあげるのはもちろんのこと・・・

- 1 学期 自分の目標や、やりたいこと（高校選択の基準など）
高校の場所や、学科など上級学校調べ ※1 学期期末テスト、実力テスト
- 夏休み 三者面談（学校見学、今後の方向性について相談） 学校見学、訪問など
※実力テスト（8月25日(金)に登校日予定）
- 2 学期 9月 進路保護者会（高校の先生を招きます）
※2 学期中間テスト・実力テスト（9・10・11月）
- 10 月後半～ 三者面談（公立高校相談、私立の受験校推薦希望など）
※私立の受験校はここで決定！！
- 11 月前半～ 2 学期末テスト→調査書作成→推薦検討会（推薦可否）
- 12 月中旬～ 茨城・千葉・東京入試相談（先生方が相談に行く）
- 12 月下旬～ 1 月前半 私立出願（個人で） 郵送・持参は確認
- 1 月～ 私立入試
※最終回実力テスト 公立高校が最後まで決まらない場合にここを判定材料に・・・
- 2 月～ 千葉・茨城公立出願 千葉公立は入試
- 3 月～ 茨城公立入試 千葉・茨城公立選抜候補者発表
※ネットでの願書出力などがあるので、ネット環境は必須
ない場合には、高校でも対応してくれます。先生方に相談してください。

皆さんも進路に悩む時期が来ていると思います。先生方みんなで応援しています。授業を通して、普段の会話を通して多くの考えを聞ければと思います。必ず保護者との相談が必要です。進路は団体戦！1人決まればいいのではありません。全員の進路先が決まって卒業して行ってほしいと思います。そのためにみんなも協力して気を遣ったり、励まし合ったりしていきましょう。自分の意志をしっかり持つ年でもあります。物事の節目は全て「選択」です。人に頼ってばかりはられません。まずは、自分がどうしたいかを考えていきましょう！！

学校見学関連の情報は、進路コーナーまたは、高校のHPに6月位から少しずつ掲載されていきます。アンテナ高く見ていきましょう。また進路において新しい情報等が入りましたら、進路通信が学級での進路学習を通して伝えていきたいと思います。また、進路についての詳しくは5月下旬に配る進路ノートに詳しく書いてあるので、必ずご一読ください。